

(その二)

工場又は 事業場の名称	富士フイルムヘルスケア株式会社 柏事業所
----------------	-------------------------

1 自主的取組実績の内容

(1) 揮発性有機化合物の排出等の量

	基準年度						目標年度					
	平成13年度						平成22年度					
使用量 (kg/年度)			1	4	0	0			1	1	0	0
排出等の量 (kg/年度)			4	2	0	0			2	9	0	0
削減率 (%)												

	計画年度（令和5年度）											
	計画値						実績値					
使用量 (kg/年度)			1	0	0	0			6	5	0	0
排出等の量 (kg/年度)			2	9	0	0			2	4	0	0
削減率 (%)												

備考 1 基準年度の欄及び目標年度の欄は、自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。

2 計画年度は自主的取組計画書を提出した年度とし、計画値は自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。

3 計画年度の使用量の実績は、当該年度に工場又は事業場において使用した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること（1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）。

4 計画年度の排出等の量の実績値は、当該年度に工場又は事業場から排出及び飛散した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること。（1キログラム未満の場合は、小数点以下第2位を四捨五入して得た数値を記載すること。）。

5 計画年度の削減率の実績値は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{(基準年度の排出等の量 - 計画年度の排出等の量) / 基準年度の排出等の量\} \times 100$$

(その三)

工場又は 事業場の名称	富士フイルムヘルスケア株式会社 柏事業所
----------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策 10	
11	19	21	22	23	29	31	32	33		54		91	92	99					

その他対策（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を記載した場合は，対策の内を次の欄に具体的に記載すること。

19： 部品洗浄用アルコール類の代替化 (非 VOC の検討)

29： 使用部門毎の使用量管理の強化 (きめ細かい管理)

99： 塗装レス化の検討 (SUS、亜鉛メッキ鋼板、プレコート鋼板への切替)

(その四)

工場又は事業場の名称	富士フイルムヘルスケア株式会社 柏事業所
------------	-------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価がCの場合は、必ず記載すること。